

2017年11月3, 4日 南ア深南部鶏冠山～池口岳

メンバー；L谷内、高橋、原、結城（R&B）

南アルプス深南部の池口岳（2392m）は以前から機会があれば訪れてみたい山の一つでした。ヒルのいない季節で茅野からの日帰りはちと厳しく、一泊ピストンだけではちょっともったいないなあと思いをめぐらしNET記録を見ていたところ鶏冠山を組み込んだ周回コースが浮上してきました。

犬切尾根～鶏冠山～池口岳南峰までは人間より鹿道の方が多い感じの踏み跡の乏しい静かなルートで地図読みにうってつけの山域でした。テンバと水場の状況がいまいち不確かであったため水も背負い上げたこともあり冬山に向けてのポッカ訓練も兼ねた山行となりました。

[行動記録]

・11/3 快晴

AM5時茅野発 - 7:10 南信濃村和田池口部落入口の池口橋たもとに駐車。NET記録では左岸道に入り込むとなっていたが鎖で進入禁止となっていた。7:30 発 - 左岸沿いの道をしばらく歩き大堰堤を迎え靴を脱いで対岸に渡り、しっかりとしたハシゴで堰堤上へ。右岸をしばらくで対岸に「シャクナゲ沢コース」の看板あり再び膝下くらいの渡渉で対岸へ。ここからすいた広葉樹林帯の激しい急直登が始まる。紅葉の盛りではあるが、足場も踏まれておらずまるで冬山

の直登ルートに登っている感じである。300m 強登った後トラバースしシャクナゲ沢を越え（9：13）、支尾根を乗り換え再びの登りを経て10：40 主尾根たる犬切尾根上に到達し一安心。その後ゆるめの登りを繰り返す 14：20 鶏冠山北峰（2204m）着。この先笹平まではコンパスだのみの下降。笹平は背の低い笹の密生地で明日向かう池口岳が見渡せる気持ちの良い平坦地である。2～3ヶ所適地あり本日のテンバとす（14：48）。苦勞して背負い上げた10lの水あり、柴沢源頭の水場の偵察は行わずに脱水補正～夕食へ。鹿の鳴き声を聴きながら就寝。

・11/4 うす曇り～曇り 風あり 昼頃に一時小雨

AM4時起床。5：20 発。ヘッドラの灯りのもと笹帯を進み支尾根に乗り 6：43 池口岳南峰上コル。光岳の光石なるものを初めて目にする。南峰往復後 7：05 発 - 7：35 池口岳北峰（2392m）着。皆で握手をかわし休んでいると滋賀県労山の9人くらいのパーティーが登ってきてお互いに写真を取り合い情報交換し 7：50 下山。この先は初日に比べればしっかり踏まれた登山道という感じで登ってくる人もちらほら見られさすが「200名山」なんだなあと納得。9：15 ザラ薙テンバ。4張りぐらいできそうな気持のよさげな所。12：30 林道終点登山口。13：15 池口橋駐車地点帰着。かぐらの湯で汗を流し茅野へ。